

ふたつの吾妻ひでお展 side:A

明治大学博物館 特別展

吾妻ひでお美少女実験室

2011年4月23日(土) ~ 5月23日(月)

日本SF大会
自動販売機13号
素新
失踪

アグネス・ス
はあど・しゅーる新聞社
純文学
子井
腐るのをじっと見ていようと思ったのに腐らない
すちゃんいっぱい泣いちゃう
美少女通信社

不条理日記
無気力プロ
不気味
ギキニアーマー
阿島
ミヤアちゃん官能写真
阿素湖素子
シベール
の日曜日

陛下のプティアン
日本吾妻漫画振興会
「コミケからやおいを駆逐するぞ！」
喜能会之故真通「あとでクラリスやるから」
海から来た機械
あてのある赤いアニメのズボン
レモンピープル

**HIDEO
AZUMA
EXHIBITION**
Bishojo Laboratory

©Hideo Azuma

入場無料 / 会期中無休

会場：明治大学博物館 特別展示室
(JR 御茶ノ水駅より徒歩5分、明大アカデミーコモンB1F)

時間：10:00 ~ 17:00

主催：明治大学 米沢嘉博記念図書館

お問合せ / 所在地

明治大学博物館

〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1

TEL：03-3296-4554 (米沢嘉博記念図書館)

ホームページ：http://www.meiji.ac.jp/museum/



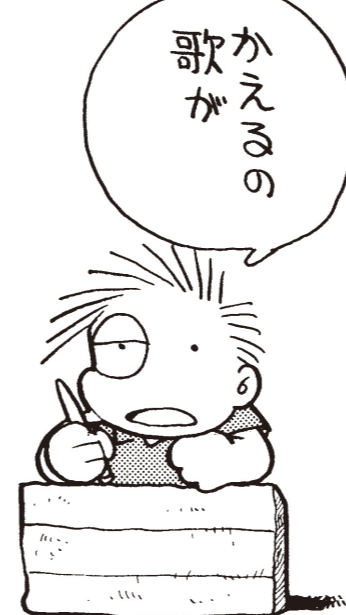
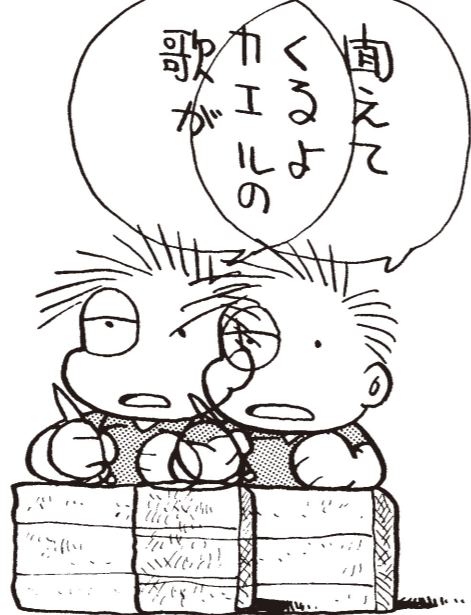
明治大学

ふたつの吾妻ひでお展

明治大学では、吾妻ひでお氏の全面協力のもと、切り口を変えたふたつの個展を2会場で開催いたします。

吾妻ひでおは、日本のマンガやアニメを特徴づけるキャラクターのスタイルや描写、SF的表現などに、さまざまな革新をもたらしてきました。とりわけ、おたく文化の形成におよぼした影響は絶大で、今の秋葉原を彩る多くの絵柄に吾妻作品の遺伝子が引き継がれています。

その吾妻ひでおが開拓したさまざまな表現を、豊富な原画とともに、ふたつの展示によって浮かび上がらせます。



吾妻ひでお 略歴

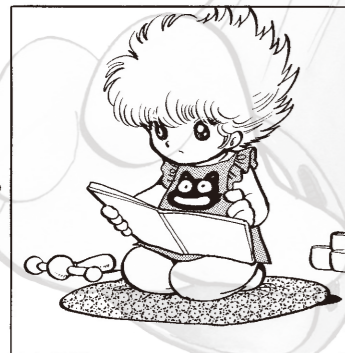
1950年2月6日生まれ、北海道出身。1969年マンガ家としてデビュー。商業誌から同人誌まで型にはまることのない活動を行う。現在の日本のマンガやアニメ、特にギャグ・SF・美少女のジャンルの表現を革新した。1979年「不条理日記」にて第10回日本SF大会星雲賞コミック部門を受賞。1989年からの2度の失踪・アルコール依存症などの経験を踏まえ、2005年に発表した「失踪日記」は、発売と同時に各メディアで話題となる。同作は、第34回日本漫画家協会賞大賞、第9回文化庁メディア芸術祭マンガ部門大賞、第10回手塚治虫文化賞マンガ大賞、第37回日本SF大会星雲賞ノンフィクション部門の4冠に輝き、日記・エッセイマンガのジャンルに大きな足跡を残すこととなる。「ふたりと5人」「やけくそ天使」「不条理日記」「ミアちゃん官能写真集」「失踪日記」など多数の作品がある。アニメ化作品に「ななこSOS」、「おちゃめ神物語コロコロポロン」など。

吾妻ひでお美少女実験室

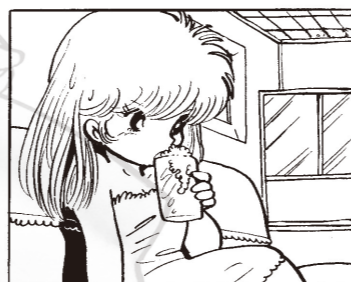
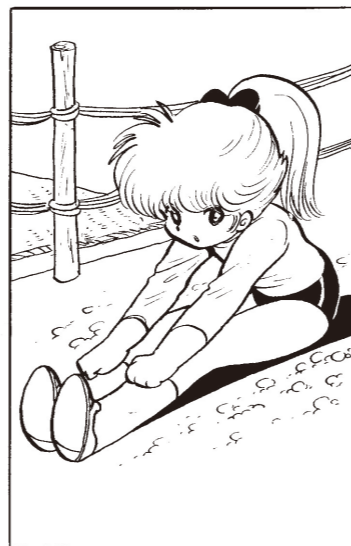
会場：明治大学博物館 特別展示室 / 入場無料
(JR御茶ノ水駅より徒歩5分、明大アカデミーコモンB1F)

期間：2011年4月23日(土)～5月23日(月) / 会期中無休
時間：10:00～17:00

吾妻ひでおは〈美少女〉表現の空前の実験者でした。さながらSF映画に登場するマッド・サイエンティストのごとき創造力で、「美少女のロボ化」「美少女のネコ耳化」「美少女の巨大化」「美少女の増殖」「美少女と変な機械」「美少女と変な生物」など、さまざまな実験を繰り返しました。数々の実験とその豊穡な成果を、後続におよぼした深い影響とともに検証し、展示します。



主な展示品：「ふたりと5人」「セクシー亜衣」「スクラップ学園」「ミアちゃん官能写真集」「ななこSOS」「シャン・キャット」ほか、アニメ口を含む数々の作品から、さまざまな美少女表現の試みを典型する原画を選び抜き、吾妻ひでお氏のコメントや、モチーフを同じくする前後世代の作品とともに展示します。



吾妻ひでおマニアックス

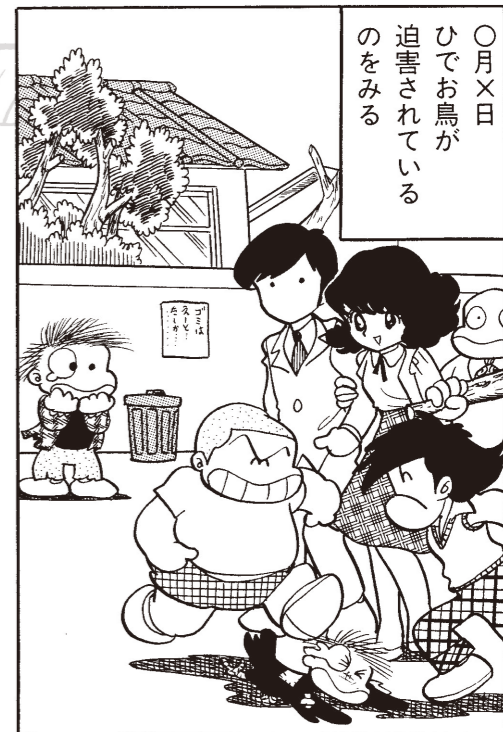
会場：米沢嘉博記念図書館 1階展示室 / 入場無料
(JR御茶ノ水駅より徒歩7分、地下鉄神保町駅より徒歩8分)

期間：2011年2月4日(金)～5月29日(日)
時間：14:00～20:00(平日) / 12:00～18:00(土・日・祝)

休館日：毎週火・水・木曜(祝日の場合は開館)
※特別整理などで休館する場合があります。
当館HP、または開館日に電話でお問い合わせください。

吾妻ひでおは商業作家として成功した後、コミックマーケットに出展した最初の作家でした。ファンとの距離が近く、ディープなファンが多いことでも知られています。マニアックな視点で選んだファン垂涎の貴重な資料により、吾妻作品の魅力を多角的にとらえます。会期中、数回にわたる展示替えを行います。

主な展示品：原画とパネルでみる「不条理日記 しっぴーどと一篇」元ネタ解析、幻の同人誌「へろ」原画版および特装版。ほか、『陽射し』カバーイラスト、「ななこSOS」「失踪日記」「地を這う魚」などの原画を、適宜展示替えしつつ多数公開。



吾妻ひでおマニアックス 展示替え

吾妻ひでおのシュールな世界：2月4日～3月7日
吾妻ひでおのメジャータイトル：3月11日～3月28日
吾妻ひでおとその周辺：4月1日～4月18日
吾妻ひでお日記と自伝：4月22日～5月29日

主催：明治大学 米沢嘉博記念図書館

所在地

■明治大学博物館
〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1
TEL：03-3296-4448
ホームページ：http://www.meiji.ac.jp/museum/

■米沢嘉博記念図書館(お問合せ先)
〒101-8301 東京都千代田区猿樂町1-7-1
TEL：03-3296-4554
ホームページ：http://www.meiji.ac.jp/manga/yonezawa_lib/



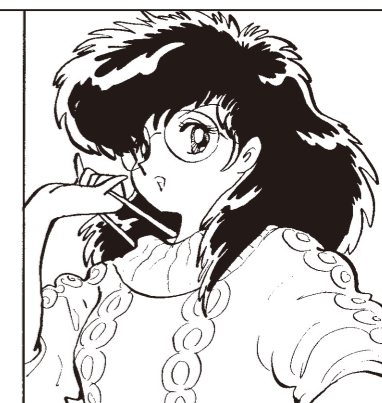
トークイベント

『「シベール」のころ』 出演：沖由佳雄 + KAZUNA (計奈恵)

日時：2月19日(土) 16:00～17:30
会場：米沢嘉博記念図書館 2階閲覧室
※入室には会員登録が必要です(登録料300円～)

「ひでおと素子の愛のトークイベント」 出演：吾妻ひでお + 新井素子

日時：4月24日(日) 16:00～17:30
会場：明大アカデミーコモン9階309B教室、入場無料



ふたつの吾妻ひでお展 side:B

明治大学 米沢嘉博記念図書館 企画展示コーナー

吾妻ひでおマニアックス

2011年 2月4日(金) ~ 5月29日(日)

入場無料

会場：米沢嘉博記念図書館1階展示室

(JR御茶ノ水駅より徒歩7分、地下鉄神保町駅より徒歩8分)

時間：14時～20時(平日)、12時～18時(土・日・祝)

休館日：毎週火・水・木曜日(祝日の場合は開館)

※特別整理などで休館する場合があります。当館ホームページ、

または開館日に電話でお問い合わせ下さい。

主催：明治大学 米沢嘉博記念図書館

お問合せ／所在地

米沢嘉博記念図書館

T101-8301 東京都千代田区猿樂町1-7-1

電話：03-3296-4554

ホームページ：http://www.meiji.ac.jp/manga/yonezawa_lib/

